

平成37年
第80回国民体育大会
開 催 要 望 書

平成27年11月20日

青 森 県
青 森 県 教 育 委 員 会
公益財団法人青森県体育協会

第80回（平成37年）
国民体育大会開催要望書

平成37年に開催される第80回国民体育大会（本大会）を青森県において開催いたしたく、別添要望趣意書に青森県議会の決議書及び東地区各都道府県体育協会同意書の写しを添えて要望いたします。

平成27年11月20日

文部科学大臣 馳 浩 様

青 森 県 知 事 三 村 申 吾

青 森 県 教 育 委 員 会

公益財団法人青森県体育協会会長 蝦 名 武

要 望 趣 意 書

国民体育大会は、昭和21年の第1回大会以来、わが国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力向上を図るなど、明るく豊かな国民生活の発展に寄与してきました。

青森県では、昭和52年に「心ゆたかに 力たくましく」をスローガンに第32回国民体育大会「あすなろ国体」を開催しました。「県民総参加の国体」を合言葉に、簡素にして清楚な中にも、みのりある大会の実現を目指し、県民一丸となって結集し、大会を成功に導いたことは、本県のスポーツ振興はもとより、その後の県勢の発展に大きく貢献してまいりました。

本格的な少子高齢化や人口減少の進行により、地方は衰退が危惧されており、更に本県では、平均寿命が全国最下位という状況が続いております。このような中、本県では、「青森県基本計画未来を変える挑戦」を策定し、人口減少の克服と健康長寿県への転換に取り組んでいるところであります。

国民体育大会を本県で開催することは、県民のスポーツに対する興味・関心を高めるほか、スポーツによる地域の活性化やスポーツを通じた健康づくりの推進、次代を担う子どもたちに夢や希望を与えるなど、本県にとって新たな活力の創出に繋がるものと確信しております。

国民体育大会の招致は、スポーツ関係者をはじめ、県民あげての強い願いであることを御賢察いただき、平成37年の第80回国民体育大会を本県で開催できますよう格別の御高配をお願い申し上げます。

第 80 回国民体育大会の招致に関する決議

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力向上を図ることを目的として開催されており、併せて地方におけるスポーツの振興と文化の発展に寄与してきた。

本県は、昭和 52 年に、「あすなろ国体」をテーマとして、「心ゆたかに力たくましく」のスローガンの下、第 32 回国民体育大会を開催した。県民総参加で成功させたこの大会は、県民に多くの感動と成果を残し、本県のスポーツ振興及び県勢発展の大きな原動力となった。

国民体育大会を再び本県に招致することは、本県の選手強化をはじめとするスポーツ振興に寄与するものである。

また、県民の連帯感や郷土意識を醸成するとともに、活力に満ちた郷土づくりを推進し、さらには、スポーツを通じた県民の健康づくりによる健康寿命の延伸のためにも極めて意義深いものである。

よって、本議会は、平成 37 年の第 80 回国民体育大会（本大会）を青森県に招致することを強く要望する。

以上、決議する。

平成 27 年 10 月 9 日

青 森 県 議 会